

「2025 年日本国際博覧会 情報セキュリティ運用設計・管理業務委託」

事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者から提案のあった内容について、4名の選定委員会委員による審査を行い、契約候補者を選定しました。なお、審査にあたっては、令和5年2月17日に事業予定者選定委員会（上記4名の選定委員及び選定作業に関して、外形的公正性の確保について審査する特別委員1名にて構成）を開催し、選定委員会委員による採点を行いました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案事業者（契約候補）

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

評価点 911点

提案金額 1,914,000,000円（消費税及び地方消費税含む）

(2) 提案事業者（五十音順）

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

3. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- ・これまでの大規模国際イベントの開催経験をふまえ、包括的なセキュリティ運用業務の設計となっており、かつ経験豊富なエキスパートを擁した運用体制によって高いレベルのセキュリティ維持が期待できる。
- ・過去の大規模国際スポーツイベントでの経験も十分にあり、それを活用できることを期待する。
- ・クラウド管理において、低コスト管理ツール、本ツールに備わっていない機能を高機能だが高コストの製品で補わせることで、全体的なコスト増を抑えようとしている。
- ・セキュリティ監視において、国内他ユーザで発生したインシデントをもとに、EDRに独自開発したシグネチャを投入している。

4. 選定委員会委員

（敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科情報科学 領域 サイバーレジリエンス構成学 研究室 教授	NW 機器やソフトウェア等の部品レベルの信頼性や安全性に注目したアプローチに加えて、実働システムにおける被害軽減技術や、利用者やサービス提供事業者のミスを考慮した安全運転支援技術を研究。NWの技術だけでなく、サイバーセキュリティ、サイバーレジリエンスなどの側面から審査をいただくため。
砂原 秀樹	慶應義塾大学大学院メディアデザ イン研究科 教授	インターネットを基盤とした安心・安全な社会を構築するためのセキュリティ、プライバシーの研究にも従事。プライバシー情報を統括管理する仕組みにも精通されており、インターネットを活用する時のセキュリティにおける技術的な側面から審査をいただくため。

高倉 弘喜	国立情報学研究所アーキテクチャ 科学研究系 教授	情報セキュリティ、ネットワークセキュリティ、高信頼ネットワーク、次世代ネットワーク等が専門分野。サイバー攻撃の解析・検知に関する専門家としての観点を中心に総合的に審査頂くため。
三角 育生	東海大学情報通信学部長 教授	博覧会協会のサイバーセキュリティ・デジタル顧問であり、情報セキュリティ、サイバー攻撃等が専門分野。IT 環境の急激な変化にも対応できる最新のセキュリティの専門家としての観点を中心に総合的に審査頂くため。
阿多 博文 (※)	弁護士法人興和法律事務所 弁護士	2025年日本国際博覧会協会において、法務担当弁護士に選任されている。 (コーポレート、規則・内規制定、契約・取引関係) 協会の契約や内規も充分熟知していることから、今回の公募選定委員会の外形的公平正担保の確認および承認について審査していただくため。

(※) 特別委員：選定作業に関して、外形的公正性の確保について審査

以上